

# さかいまち 議会だより

No. 151

平成22年8月1日発行

編集発行・茨城県境町議会  
広報編集委員会

〒306-0495 境町391-1  
TEL. 0280-81-1316  
FAX. 0280-87-5873

ホームページアドレス  
http://www.town.sakai.ibaraki.jp



七夕まつりの準備（ふれあいの里幼稚園）

## 今定例会の概要

平成22年第2回定例会は、6月3日から10日までの8日間の会期で開かれ、この定例会には、小児医療費の助成を15歳まで拡充する「境町医療費支給に関する条例の一部を改正する条例案」や各会計の補正予算の議案などが提出されました。

一般質問では、商店街の整備について、子育て支援事業について圏央道周辺開発についてなど6名の議員が質問に立ちました。

## 提出議案の内容と審議結果

### 条例の改正

○境町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例案

〔原案可決〕

小児医療費助成制度の改正に伴い所要の改正をするもの。

○境町医療費助成に関する条例の一部を改正する条例案

〔原案可決〕

町単独事業の見直しに伴い所要の改正をするもの。

### 補正予算

○平成22年度境町一般会計補正予算（第1号）

〔原案可決〕

歳入歳出の総額から、歳入歳出それぞれ8千11万9千円を減額し歳入歳出予算の総額を83億7千688万1千円とするもの。

○平成22年度境町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ74万6千円を減額し歳入歳出予算の総額を31億7千953万4千円とするもの。

○平成22年度境町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ35万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を3億3千784万6千円とするもの。

○平成22年度境町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ46万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億9千406万9千円とするもの。

○平成22年度境町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ630万円を減額し、歳入歳出予算の総額を2億5千300万円とするもの。

○町道路線の廃止について

〔原案可決〕

境町大字若林地内において、社会福祉法人森戸福祉会の規模拡大に伴う用途廃止申請により、当該路線を廃止して、普通財産に切りかえるもの。

# 一般質問

議席12番 齊藤 政一 議員



## ○商店街の整備について

Q. 境町総合計画に策定された基本方針、商店街の基礎整備、具体的施策との整合性と取り組みの現状について。

A. 具体的施策としては、境町商店街近代化基本計画の推進、中心市街地活性化の推進、商店街修景事業の推進がある。しかしながら、多額の費用を要する事業が多いことから、現在の町財政状況や旧商店街の現状の中では、すべての事業を実施することは、大変困難な時期ではないかと考えられる。今後は、町財政状況等を勘案しながら、便利で安心な商店街づくりに向けて境町商工会等関係団体と協議し、進めたいと考えている。

## ○子育て支援事業について（境町次世代育成対策行動計画）

Q. 子育てを取り巻く現状と幼保一元化に向けた計画推進について。

A. 平成21年度において、町内の私立保育園（二園）及び幼稚園（一園）が、それぞれ認定子ども園へ移行したい意向が示された。急速な少子化進行への対応として、現下の情勢を判断

したものであり、幼保とも小学校就学前の子どもへの教育や保育に対する需要が多様になってきていることから、現施設の機能の増員にとどまらず、それぞれの機能を生かした認定子ども園への移行計画でもあったものと考えている。平成22年度に二園が開園し、平成23年度には、茨城県安心子ども支援事業及び町補助等により施設整備を含めた中でさらに一園が開園予定となっている。

議席1番 濱野 健司 議員

〔民生部長〕



## ○父子家庭への支援について

Q. 父子家庭支援について、これまでの再三の質問で財政上厳しいとのことであったが、今回議案にある町独自のマル福拡充の補正予算、年2、660万円の事業から考えると、せめて何らかの枠組をつくるような独自施策はできたのではないか。

A. 今後、検討して行きたい。

〔民生部長〕

## ○冠水対策について

Q. 長井戸地内において冠水のひどい地域で、水路と思われるがふたもなく、車の往来により登下校中の中学生が自転車での転倒被害もあり、地域住民からふたをするなどの要望が出ているが。

A. 安全対策を講じて行きたい。

〔産業建設部長〕

Q. 中学生の事故防止のため、いち早く対策は。

A. 調査の上、ポストコーン・防護柵等を設置するなど安全対策を図って行きたい。

〔産業建設部長〕

Q. このようなケースで町へ陳情が出た場合、どのように検討して行くのか。

A. 調査の上、重要性の高い順から改善して行く。

〔産業建設部長〕

Q. 西泉田から境二中への通学路でも過去に中学生の転倒などの危険性の理由から、陳情も数年前に上がっており、しっかりとした対応をして欲しいが。

A. 直ぐにできるものについては、処理するよう指示をしている。

〔町長〕

A. 再度調査をしたい。

〔産業建設部長〕



## ○職員採用について

Q. 11名の退職者に対し20名の新規職員募集が広報に載せられたが、職員定数管理はどのようにしているのか。

A. 全国の類似団体との比較及び総務省の定員回帰指標を参考に定員適正化計画を策定し、それに基づいていく。

〔総務部長〕

Q. それは数値からの判断で、実際の現場の状況、仕事量などによるアンケート等調査は行なわれているのか。

A. 各課の必要人数のヒアリングを実施している。

〔総務部長〕

## ○期末手当の加算給について

Q. 町長の期末手当の加算給について町長はどうかお考えか。

A. 行政改革の一環として平成17年度から5年間凍結してきたが、この間51名の職員削減ができたことと期限終了から復元をさせていただいた。

〔総務部長〕

議席5番 須藤 信吉 議員



## ○圏央道周辺開発について

Q. 仮称境インターチェンジ開通見通しについて、予算削減により1年2年は遅れると言われているが。

A. 開通見通しについては、平成24年度目標に事業が推進されているところである。境町区間においても橋脚工事が進み、またアクセス道路とし

て354号バイパス工事も結城・野田線から町道1の7号線の940メートルを重点区間として一部改良工事が進められている。これからも関係機関等と協議をし早期開通に向けて要望して行く。

〔産業建設部長〕



境 IC(仮称) 予定地付近

Q. 周辺開発計画について、まちおこし推進室にて進められているが進捗状況は。

A. まちづくり基本調査（A調査）のBブロック38・5ヘクタール（地権者206名）を含めた開発計画として検討協議会等を設置して進めて行く。

〔総務部長〕

## ○子育て支援事業について

Q. 医療費無料化拡充について、平成22年10月より小学3年生までが対象となるが、当町において中学3年生までの対象が出来るか。

A. 医療福祉支援制度を、10月より中学生まで拡大する予定である。財源については、行政改革等により確保できる見通し。

〔民生部長〕

○新規職員採用について

Q. 定員管理の適正化について、23年度に20名の新規採用とあるが類似団体等と比較してどうか。

A. 適正化計画職員数を、平成27年度に230名とし、現在、年齢別の空洞化、また地方分権化等による作業の増加に伴い、今後は有資格者も採用する予定である。

〔総務部長〕

議席2番 飯田 進 議員



○境町の教育現場の現状と課題について

Q. 校舎内外の安全点検並びに児童・生徒の登下校時の安全対策はどうか行われているか。

A. 安全点検については各小・中学校で毎月先生方が危険箇所の実態把握に努め、教育委員会に報告・対処している。登下校時の安全対策については、児童・生徒の交通安全・防犯に対する意識高揚の為に校内指導を実施し、また安全確保の為に保護者会・地域住民・関係機関の見守り等のご協力を頂いている。

〔教育長〕

○児童・生徒のいじめ、不登校等の現状と指導体制は。

A. 平成21年度のいじめと認められる件数は、小中あわせて9件の報告が

あり、教職員が状況把握に努め、児童・生徒の指導や家庭訪問による保護者への報告・指導を行い、いじめ解消に努めている。不登校については減少傾向にあるが、学校生活に対応できない児童生徒の居場所づくりや、教育相談のための適応指導教室への在籍や通級指導等による学校復帰の支援をしている。

〔教育長〕

Q. モンスターペアレントの実態と学校側の対応は。

A. 現在のところ、境町では該当事案は確認されていないが、学校教育の基本は、保護者との信頼関係の構築であり、今後も研修会等を実施するなど、よりよい保護者との信頼関係を維持できるよう努めていきたい。

〔教育長〕

Q. 電子黒板の活用や緊急注射等新たな事項へ教職員は対応できているか。

A. 電子黒板については、十分に使い慣れる為の校内研修を積極的に実施するよう指導する。町内に緊急注射を必要とする子供の報告はないが、今後該当する事例に対応できるように検討する。

〔教育長〕

議席9番 内海 和子 議員



○事務事業について

Q. 各種推進委員会や審議会等の位置づけはどうかになっているのか。

A. 委員会、審議会とも地方自治法に基づいて位置づけられている。推進委員会は事業の具体的な推進をするためで、関係者や有識者を以て設置される。

〔総務課長〕

Q. 町長が委嘱する推進委員会はその位あり、どういう根拠でなされているのか。

A. 町長の委嘱は14団体で、町が定める要項や規則に基づいている。

〔総務課長〕

Q. 内規はどのような過程で作られるのか。

A. 行政機関内部で統一した事務処理を目的に担当グループで作成される。

〔総務課長〕

Q. 職員の研修はどのような内容で、どのくらい行われているのか。

A. 茨城県自治研修所が主催する階級別研修に20名が参加。地方自治講座表現力スキルアップ講座、危機管理講座に3名参加。また町独自の研修としては「境町職員の心得」「親しまれる公務員とは」「境町総合計画」等を民間講師や町長が行っている。

〔総務部長〕

○高瀬舟運航について

Q. 町のシンボルとして継続しているさかい丸のPR策は何か。

A. 境町ホームページ上で「いばらき圏央道沿線ナビ」にわかりやすく掲載している。遊歩道などへの車進入禁止については関係機関と協議をする中で実施したい。

〔産業建設部長〕

議席7番 田山 文雄 議員



○産後のうつ病の予防について

Q. ひとつの提案として、読み聞かせのための絵本をプレゼントをしてはどうか。

A. 良い提案なので、早速担当者に検討させたい。

〔町長〕



○学校図書について

Q. 境町総合計画では、学校図書室の充実を図るため、計画的な図書購入を推進とあるが、現状と計画について。

A. 中学校では標準冊数に達していない状況にあり、子どもたちの教育環境の充実のために、早い時期に標準冊数に達するよう図書の充実を図りたい。

〔教育次長〕

○子宮頸がん予防ワクチンについて

Q. 子宮頸がん予防ワクチンについては、3月定例会で質問もし、今定例会の町政報告に検討とあったが、具体的内容について。

A. 今年度で中学3年生と2年生を対象として行い、来年度に中学2年生と1年生を対象とする計画で現在検討している。

〔民生部長〕

Q. 町の将来的な組織機構の考えについて。

A. 「境町組織検討委員会」において、定員適正化計画も含めた検討に取り組んでいる。

〔総務部長〕

請願・陳情 審査結果

○「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する陳情 [不採択]

陳情者

取手市桑原512番地1  
大橋幸雄ほか4名

## 特別委員会報告

### ◎境町議会行政改革特別委員会経過報告

#### 「事業仕分けへ向けて」

平成21年9月11日に「境町議会行政改革特別委員会」を設置し、活動している委員会の構成委員は7名で活発な議論がなされております。

昨年12月議会では補助金見直しの要望書を提出いたしました。

また、役場職員の定員適正化計画についても執行部より説明を受け、今後、議論していく予定です。

同時に、事業仕分けの調査研究も行い、今年2月には民間のシンクタンクである構想日本へ研修に行きました。

国の事業仕分け人のひとりである中村卓先生の講義を受け、改めて、事業仕分けをすることによって、行政や住民の意識向上に多大な効果が期待されることを再認識いたしました。

そこで6月議会後、3回の会合を重ね、境町なりの事業仕分けをしようということになりました。

とりあえずは特別委員会レベルでの6事業に絞り、実施する予定です。9月議会までには開催したいと考えております。

なお、今回の仕分けは模範的に委員会の中の仕分けとなります。

この結果を以て町執行部でも積極

的な取り組みを期待するものです。

町が主体的に取り組むことによつて、仕分けの基本である外部の目としての住民参加、そもそも町がお金を出してやるべきことなのかなど、情報公開へつながるというものです。国も地方も財政難の時代、加えて福祉部門の充実が期待される中、きめ細かな事業の見直しは一過性のものでなく、繰り返し行なうことが期待されます。

私たちが未来へ負の遺産を残さないよう真摯に論議を深めたいと委員一同感じているところです。

委員長 内海和子

#### 境町議会行政改革特別委員会

委員長	内海和子
副委員長	齊藤政一
委員	濱野健司
〃	倉持 功
〃	須藤信吉
〃	橋本正裕
〃	田山文雄

### 第3回臨時会のお知らせ

平成22年第3回境町議会臨時会が8月5日(木)に開催される予定です。

### 第3回定例会のお知らせ

平成22年第3回境町議定会定例会が9月8日から16日までの9日間の会期日程で開催される予定です。

9月8日(水) 本会議(開会、提出議案上程)

9月9日(木) 一般質問

9月10日(金) 一般質問

9月13日(月) 決算特別委員会

9月14日(火) 決算特別委員会

9月15日(水) 常任委員会

9月16日(木) 本会議(採決、閉会)

### ◎平成22年度2市1町合同水防演習が坂東市を会場に開催される

6月19日、坂東市長谷地先利根川左岸堤防で利根川・渡良瀬川両河川の洪水による水害を防御し、堤防保全のため消防団員に水防工法を習得させることを目的として実施されました。

前日の雨も上がり、早朝から厚い日差しが照りつけ参加した団員は汗だくの大健闘でした。

演習に参加した消防団員は、坂東市で50名、境町で50名(内2名議員)。

また、実施工法は、主に土の作り、五徳縫い、月輪などでした。

境町からは、消防団員の他、町長副町長、議長、副議長、議員4名が出席しました。

改めて、消防団の皆様には地域住民の安全確保のため消防業務に日夜ご尽力をされていることに対して敬意と感謝を申し上げます。



### ホームページで一般質問の会議録が見られます

議会では、広報活動の一環として、平成18年第1回定例会の一般質問から質問の全文を議会ホームページに掲載しております。境町議会ホームページ「一般質問会議録」を開いて頂くと質問者ごとに全文を見ることができます。

なお、ホームページに反映されるのは、会議録を調整するのに時間を要しますので、定例会終了後、2ヶ月後位になりますので、ご理解をお願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.town.sakai.ibaraki.jp/gikai/01-top.html>

### ◎広報編集委員会

委員長	新谷 一男
副委員長	濱野 健司
委員	田山 文雄
委員	須藤 信吉
委員	渡邊 昇